

平成19年度 事務事業評価表		担当	総務部 税務収納課				内線等	2412
事務事業名	自動車臨時運行許可事務事業				事業コード	5 . 義務的事業		
根拠法令等	道路運送車両法第34条第2項				A法令	B条例		

総合計画での位置付け

基本目標	6 . 市民とともに歩むまちづくり	施策名	財政
------	-------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	車検切れ継続検査、試運転、新規登録等、運行要件を満たしていない自動車に対して
手 段	臨時運行許可証を交付することで
想定する成果	車検、試運転及び新規登録等のための回送ができる。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
事業費	1,035千円	1,016千円	1,067千円
許可手数料	576,750円	500,250円	600,000円
許可件数	769件	667件	800件

成果指標

成果指標名	1件当たりの経費	1件当たりの交付時間
成果指標の説明	事業費/許可件数	許可に要する時間

事業の進捗状況 （ 一般 会計 ） （単位：千円）

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		1,346円				1,523円				1,334円			
成果指標		2分				2分				2分			
事業費	事業費	22				0				42			
	人件費	1,013				1,016				1,025			
	(人数)	正規	0.1	非常勤	0.1	正規	0.1	非常勤	0.1	正規	0.1	非常勤	0.1
	合計	1,035				1,016				1,067			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他	577				500				600			
	一般財源	458				516				467			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	3	3	3	申請書は手書きのため、現状では最良の方法で処理している。
経済効率性	3	3	3	3	人件費以外は申請書の印刷製本費のみで、安価である。
事務効率性	3	3	3	3	単純な事務のため、現行では最大の効率化をしている。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	9	12	9	12	
施策への貢献度	3	3	3	-	
合計	12	15	12	12	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	A	A	中古車販売が好調なことから、今後、利用が増すと思われる。簡単な事務のため合理的な処理を行っている。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
県レベルで進められている電子申請が整備されて、許可事務にも利用可能になれば利用者の利便が図られる。
上記改善点の実施状況
許可証とナンバープレートの手渡し交付の為、その後、効率的な申請及び交付は困難の状況である。

今後さらに改善すべき点

自動車関係の業者以外の個人での申請が増加しつつある現在、許可証及びナンバープレートの返還、回収等が複雑化してきている。

平成21年度予算に反映する項目

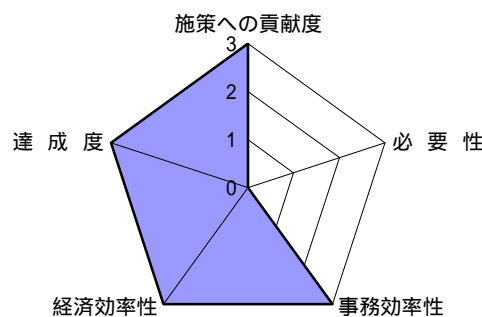
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点